



光風緑 Hannan

2010年12月

日本医療機能評価機構認定病院
〒599-8263 大阪府堺市中区八田南之町277番地 電(072)278-0381 内(072)277-2261 URL http://www.hannan.or.jp

理念 愛の心で医療に奉仕を 和の心で総力一致を 励む心で創意工夫を

イヴォンヌヘルスガーデンセラピー スウェーデン

Yvonne Health garden Therapy Sweden by Yvonne Westerberg



11月22日(月)スウェーデンで庭園療法を確立し、世界的に活動の場を広げておられるイヴォンヌ先生をお招きしました。当院でアートのインホスピタルを展開するアナグリウスケイ子先生のご縁で講演が叶ったもので、当日は通訳のスウェーデン大使館参事官夫人豊子さんを含め3名で来院になりました。

庭園には植物を育てることを楽しんだり、花や葉が枯れるのを惜しんだり、そこにいるだけでさまざまな気持ちが生まれます。悲しい、楽しい気持ちといった感情や、育てた果物でジャムやクッキーを作り、おいしい、熱いといった感覚など、いろんな想いをもつことで刺激される五感が癒しを引き出します。それを自然ではなく、効果を図り実践したものが、イヴォンヌ先生がスウェーデンで提唱されている庭園療法です。

当院でも新棟の北側に庭園を造り庭園療法を実践する予定にしています。

講演でイヴォンヌ先生は、自然には人間が使い果たしたエネルギーを取り戻す力があります。情報が氾濫し、都市に人が集中する現在にあって、ストレスになる要因は計り知れません。それらに効果をもたらすものとして、「自然」が健康に与える影響は国際的にも研究が進められています。と力強く語られました。

基本方針

人 権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

最 新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

光 と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地 域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

信 頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定

院内

花

だより

冬の彩り、さざんかが美しい時期です。



光風緑

さざんか

椿(つばき)科。

学名 Camellia sasanqua

開花時期は、10/10頃～翌2/10頃。
花の少ない晩秋から初冬にかけて、朝夕の冷たい空気に誘われるように咲き出します。

院内でもぼつぼつと咲き出しています。鮮やかなピンクが多いですが、中に真っ白な花をつけているものもあります。空気の澄み渡る寒い朝は特に美しく咲いています。是非探してみてください。

外来診察表

外来診察時間 / 9:00 ~ 12:00(受付は11:30まで)

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 診 | 黒田 | 柏木 | 中井 | 横田 | 黒田 | 横田 |
| 2 診 | 松島 | 野村 | 松島 | 野村 | 横井 | 横井 |
| 3 診 | 西側 | 梶本 | 植田 | 梶本 | 西側 | 植田 |
| 4 診 | 西村 | 山田 | 西村 | 三秋 | 相馬 | |
| 5 診 | 佐野 | 影山 | 川村 | 宮里 | 秋田 | 吉田祥 |
| 6 診 | 呉家 | 清水健 | 吉田 | 吉田 | 清水健 | 呉谷 |
| 7 診 | 村上 | 村上 | 小深田 | 和田大 | 和田大 | 小深田 |
| 8 診 | 熊取谷 | 河野隆 | 作田 | 清水喜 | 作田 | 熊取谷 |
| 9 診 | 宋 | 植月 | 荒川 | 河野い | 和田貴 | 植月 |

専門外来(睡眠・小児・住診・女性・物忘れ・口腔)は予約制です
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。
受診の前に下記へお電話ください。
電072-278-0381 内072-281-6615



診療科目

精神科 心療内科 内科

病床数

EPU 精神科救急 病棟120床(H2,H3病棟)
精神科急性期治療病棟48床(C1病棟)
亜急性期病棟120床(B2,C2病棟)
メンタルケア病棟54床(E3病棟)
リハビリ病棟60床(E2病棟)
老年性精神疾患・認知症病棟118床(D2,D3病棟)
MPU 精神科合併症治療 病棟50床(H1病棟)
精神療養病棟120床(F2,F3病棟) 計690床

看護体制

精神科病棟15:1 急性期病棟13:1 スーパー救急10:1
看護師比率70%以上・看護補助10:1

関連施設ご紹介

訪問看護ステーションふれあい
居宅介護支援事業所
ヘルパーステーションはんず
ケアホーム/こもれび・青空・つばさ・そよかぜ
堺市中区八田南之町277 阪南病院内 電072-278-0381
ケアホームあんずの郷
堺市中区八田北町309 電072-278-2233
地域生活支援センターゆい
堺市中区深井東町3134 電072-277-9555

院内は敷地内完全禁煙です!



編集・発行 医療法人杏和会 阪南病院 地域医療連携室&総務課広報「光・風・緑」チーム

EPA看護師候補生入職

11月1日より2名のフィリピン人看護師候補生が勤務を始めました。ニックネームはフィッシュさんとスーサンさん。

EPAは、フィリピンと日本の協約により進められている事業であり、候補生は3年間の滞在期間の間に日本の看護師国家試験に合格しなければ、看護師として日本で働くことができません。最初の5ヶ月間は国が日本語研修を行います。その後は受入先病院で勤務しながら勉強し、国家試験に臨みます。当院では、昨年に引き続き、2期生の入職です。

5月に来日したときには、全く日本語が分からず、通訳を介して何とか疎通ができるという状況でしたが、たった5ヶ月で驚くほど日本語が理解できるようになりました。もちろん、早口の大阪弁は理解が難しいかもしれませんが、国家試験を受けるにも、まずは基礎である日本語を覚えなければ、到底、専門の勉強はできません。受け入れ側である私たちが、積極的に声をかけ接することがとても大切です。

しっかりと病院全体でフォローしていきたいと思えます。

再来受付機稼動

外来診察受付が自動化されました。これまでは、外来窓口で診察券を入れると、スタッフが主治医ごとに診察室を振り分けて患者さんに受付票を手渡ししていましたが、一連の作業が自動化されました。診察券を再来機に入れていただくと、受付票が発券され、診察室と番号が記載されていますので、表示板に番号が表示されたら診察室へ入っていただきます。表示板の運用はこれまでと大きくは変わっていません。

また、11月より予約診療も始まりまして。これまで、精神科ではなかなか予約を取ることが難しいといわれてきましたが、再来機導入にあわせ予約診療をスタートさせました。しばらくは、予約外、予約なしでこられる方も多いと思いますが、定着させていくことで、待ち時間の軽減に繋がっていくことができます。また、患者数の平



準化や業務の効率化が達成できれば、さらにキャパを上げていくこともできるでしょう。新たなチャレンジが始まりました。

H棟完成



10月10日(日)創立54周年記念日は、新棟の竣工式も重なり、日曜日ではありますが、9時40分から創立記念式典、11時から新棟竣工記念式典、祝賀会とお祝いムード一色の一日になりました。

竣工記念式典は、近隣の町会長をはじめ、設計・建築・施工会社の方々や職員を集め、新棟ミニ体育館で盛大に行われました。



H棟紹介

1F

外来(救急外来) 診察室を9室、救急搬送口からつながるエリアに救急診察室を配置し、増加する外来患者さんの診療に対応します。また救急患者さんの、一般外来との動線を分けるとともに、階上のEPU(精神科救急)病棟などへの入院をスムーズにします。

MPU(精神科合併症治療)病棟 合併症治療では、精神疾患をもちながら内科疾患などを合併する方の身体管理を中心とした治療、ケアを行います。精神科医と内科医等が協力して、患者さんのQOLを上げることを大切に他職種と連携し、医療を実践します。

2・3F

EPU(精神科救急)病棟 地域からの要請も非常に高い、精神科救急病棟では、実効性の高い良質な治療・看護が必要とされています。短期の入院期間(3ヶ月)内に質の高い治療を行い、1日でも早く退院に結びつくように、密度の高い人員を配し、質の高いアメニティで入院治療を行っています。また、病状にあわせ、入院から退院までを保護期 回復期 退院期といった3つのユニットで構成しています。

屋上

屋上庭園 EPU病棟を中心に、ストレス発散の場として、また自然の風や空気を感じていただける空間として利用します。H棟各階からは専用エレベーターで直結しており、病棟から直接利用できる施設としました。

地下1F

薬局・検査・放射線・歯科 新棟地下に検査や歯科が移転することで、外来患者さんからのアクセスがぐんとよくなりました。また、MPU・EPU病棟のみならず当院の全病棟と連動する基盤機能とも言うべき薬局・検査室・放射線室を集中配置しています。

地下2F

アプリコットホール(ミニ体育館) 屋上庭園同様、患者さんがのびのび身体を動かせる場として利用します。バドミントンコート1面分の広さを持ち、球技やヨガといったスポーツや映画鑑賞など多目的な利用が可能です。



2F 個室



1F 中庭

アートインホスピタル

Art in Hospital

「世界的な考えを新棟に」と取り入れられたアートインホスピタル。「病院は人間にとって一番美しい場所でなければならない」という理念のもと、五感に働きかけるアートは医療において大変注目されています。新棟に描かれた絵や作品は、病棟内廊下の壁面にどこまでも続く青空のような奥行きを創ります。アートを一つ見つけると、次を探したくなる、そんな感覚にとらわれる新棟は、温かな光とやさしいアートで溢れています。



和柄のキルトと温かみを感じられる木製の作品。

廊下飾り棚に描かれた風景とやさしいキルトの置物は、つい触れてみたくなります。